



2023年1月27日

各 位

会 社 名 サイバートラスト株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 眞柄 泰利  
(コード番号：4498 東証グロース)  
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 CFO 清水 哲也  
(TEL 03-6234-3800)

### 2023年3月期 第3四半期に関する質疑応答集

当社の2023年3月期 第3四半期決算に関して、これまで株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想、当社からの回答をまとめましたので、以下の通りお知らせいたします。

なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

**Q1. 第3四半期累計で、売上高約67%、営業利益で約63%の進捗状況ですが、通期予想達成の見通しを教えてください。**

A1. 第3四半期時点における業績は、概ね第4四半期に業績加算が大きい当期の社内計画通りに進んでおります。

特に、リカーリング、プロフェッショナルサービスの積み上がりは想定通りで、iTrustの期末のトランザクション増大も見込まれております。

第4四半期においては通期計画の確実な達成はもちろんのこと、当期内での更なる案件受注、来期に繋がる展開に向け取り組んで参ります。

**Q2. 当期は前期比15%の増収また最終利益で30%増益の計画ですが、株価が1年前と変わりません。株価対策についてお聞かせください。**

A2. 株価については、当社価値の重要な指標として大きな課題と認識しております。

業績、企業成長はもちろんのこと株式価値向上に資する施策については、各種状況を見極めながら、適宜検討をして参ります。

**Q3. 第3四半期の3か月間で見ますと、前年同期比で増収減益に見えます。急激な円安に伴う費用増など特殊要因があるのでしょうか？**

A3. 第3四半期の3か月間の前年同期比では人件費、償却費等が増加、IoTサービスのプロフェッショナルサービス売上大幅増に伴い原価が増加しているため増収減益となっております。円安等為替変動に伴う費用増は軽微となります。

**Q4. 第2四半期で説明のあったCentOS駆け込み需要部分について、第3四半期決算説明では当期分の記載がありません。CentOS駆け込み需要の状況について教えてください。**

A4. CentOS延長サポートの売上のうち前期に契約および売上計上したものをCentOS駆け込み需要としております。当期においてはCentOS延長サポート契約の更新率が想定を大きく上回る水準で推移しており当該更新契約については一時的な駆け込み需要ではなく新規需要との認識に変更しております。今後の当社業績においてもプラス要素となります。

Q5. リカーリングのビジネスの比率が上がると当社にどのようなメリットがあるのですか？

A5. リカーリングは「繰り返す」「循環する」という意味の言葉で、お客様との契約により継続的に収益を計上することができます。

リカーリングサービス売上が積み上がることにより中長期的に安定した収益を上げ続けることが可能となります。

また当社のリカーリングサービスに分類される **Linux** サポート、証明書サービスはパートナー様を介して拡販することができること、解約率が少ないことも当社の強みであります。

以上